

令和4年度

山形市郷土館運営協議会

日 時 令和4年7月12日(火)
午前10時00分～11時00分
会 場 市庁舎10階 1001会議室

1 開 会

2 企画調整部長あいさつ

3 会長あいさつ

4 報 告

令和3年度山形市郷土館事業報告について

5 協 議

令和4年度山形市郷土館事業計画(案)について

6 そ の 他

7 閉 会

山形市郷土館運営協議会委員名簿

任期：令和3年4月1日から令和5年3月31日まで

氏名	職業等	備考
い く し ま の ぶ ゆ き 生 島 信 行	山形県立博物館 館長	
さ だ ひ ろ み つ あ き 貞 弘 光 章	山形市立病院済生館 病院事業管理者	
さ とう こ 佐 藤 琴	山形大学基盤教育院 准教授	
さ とう み よ こ 佐 藤 美代子	山形市立出羽小学校 教諭	
し む ら な お よ し 志 村 直 愛	東北芸術工科大学 デザイン工学部 建築・環境デザイン学科 教授	
た け は ら か ず お 竹 原 万 雄	東北大学東北アジア研究センター 上廣歴史資料学研究部門 助教	
とうかいりん えい こ 東海林 栄 子	山形市観光ボランティアガイド協会 運営委員	
やまの うち はげむ 山 内 励	東北芸術工科大学 非常勤講師	

(五十音順)

事務局名簿

山形市企画調整部長 畑口 和久
 文化スポーツ推進監 高野 英昭
 次長（兼）文化振興課長 三條 恵美
 計画推進総括主幹（兼）課長補佐 阿部 宏
 文化財係長 齋藤 仁
 主幹 田辺 政則
 郷土館職員 石井 康友

令和3年度 山形市郷土館事業報告

1 郷土館入館者数

令和3年度	令和2年度	前年比
20,554 ^人	15,882 ^人	+29.4(%) +4,672 ^人

令和3年度は、昨年度に比べて29.4%の増となった。月平均1,700人前後の入館者数。令和2年度は、4月1日から5月17日まで臨時休館を行ったため、昨年度よりは入館者が増加している。

2 展示事業

(1) 常設展示

- ① 済生館が山形市の医療及び保健衛生の向上に果たした歴史
 - ・江戸～明治時代にかけての医学関係資料・医療機器（第5室・第8室）
 - ・ローレツ博士の遺品（第2室）
 - ・郷土出身の医療関係者に関する資料（第1室・第3室）
- ② 山形市の歴史資料
 - ・江戸～明治期の地図や記録などの資料（2階ホール）
 - ・明治14年に菊地新学が撮影した山形市街地の写真（2階ホール）
 - ・山形城出土の鬼瓦や屋根瓦などの展示（1階ロビー）
- ③ 建造物としての重要文化財「旧済生館本館」の魅力の紹介
 - ・「旧済生館本館」移築復原工事に関する資料の展示（第7室）
 - ・3・4階（通常非公開）の写真パネルによる展示紹介（1階ロビー）

(2) 企画展示

- ① 「令和3年度 山形市郷土館・郷土資料収蔵所 新収蔵品展」
令和2年度に郷土館及び郷土資料収蔵所で寄贈を受けた資料を展示・紹介
 - 開催期間 令和3年7月1日（木）～8月1日（日）
 - 展示内容 令和2年度の寄贈資料11点
 - ・秋元氏大名行列絵巻
（東北芸術工科大学文化財保存修復センターによる
大名行列絵巻修復の記録も併せて公開）
 - ・女風俗玉鑑・最上流算法・宝玉百人一首
 - ・風流松の木枕・御成敗式目 ほか
 - 開催期間中の入館者数 1,683人（令和2年度は中止）
- ② 「令和3年度 山形市郷土館秋季企画展
開館50周年記念 山形市郷土館の歴史」

山形市郷土館は昭和46年4月1日に開館してから、令和3年3月31日で50年となる。これを記念して、改めて現在地に移築復元された経緯や、これまでの郷土館の歩みを振り返り、所蔵資料や古写真を中心とした資料を含めた展示を行うことで、市民共通の財産である重要文化財「旧済

生館本館」に対する理解と愛着を深めることを目的とする。

- 開催期間 令和3年11月1日(月)～12月5日(日)
- 展示内容 移築復元に関わった人々の証言の紹介や、50年前の移築復元の様子、郷土館開館当初の入場券など、その他資料の展示
- 開催期間中の入館者数 3,766人

③ 「令和3年度 山形市文化財成果展」

令和2年度に山形市内で行なわれた遺跡調査成果や、令和2年度の新指定文化財等について、パネルによる紹介展示を行う。

- 開催期間 令和4年1月8日～2月6日まで
- 展示内容 令和元年度および2年度の文化財保護業務の成果に関する写真パネル及び解説パネルなど
 - ・発掘調査(国指定史跡 山形城跡)
 - ・新指定の市指定文化財(烏海月山両所宮の穀様し、穀様しの版木)
- 開催期間中の入館者数 849人

3 普及事業

(1) 『郷土館だより』の発行

令和4年3月に第96号を発行。(800部印刷)

○掲載予定内容

- ・寄稿文(旧済生館本館解体復元から郷土館の開館について)
- ・新指定の山形市指定文化財について
- ・令和3年度 郷土館の事業等紹介
- ・令和4年度 郷土館の事業予定等紹介

○送付者(R3年度実績) 457部

内訳	・博物館	58部(58ヶ所)
	・医療関係機関	42部(42ヶ所)
	・行政機関(市町村教委)	34部(34ヶ所)
	・行政機関(山形市)	140部(87ヶ所)
	・その他(その他団体)	61部(34ヶ所)
	・個人(寄贈者等)	122部(122ヶ所)

※残り約340部を郷土館、文化振興課等で配付

平成18年度よりホームページにおいて公開している。

(2) 「旧済生館本館 3・4階特別公開」の実施

事前申し込み制の「旧済生館本館 3・4階特別公開」を2回開催し、通常非公開の3・4階を公開し、旧済生館本館の魅力を発信する機会とした。

- 内容 通常非公開としている3・4階の公開
- 参加者 第1回 10月 2日(土) 18人
- 第2回 11月 27日(土) 26人

(3) 団体等の見学への対応

下表の団体客の見学申し込みを受け入れた。

○団体入館者数

	令和3年度	令和2年度
団体数	60団体	43団体
見学者数	1,432人	1,216人

○主な見学団体

- ・旅行会社によるツアー（30団体 393人）
- ・市内及び周辺市町村の小・中・高校生（13団体 551人）
- ・町内会（5団体 73人）

(4) 広報活動

郷土館で開催されるイベントや、出版社・マスコミに取材されたことを周知するため、公式ホームページ、フェイスブックページに掲載して市内外へPRした。また、これまでロビーで放映していた旧済生館本館について紹介したDVDを動画に変換し、市の公式YouTubeチャンネルで公開した。



ようこそ
山形市郷土館へ



旧済生館
本館三層楼



済生館と
ローレツ博士



済生館の
歴史

(5) 郷土館の撮影・取材及び掲載への協力

放送番組、観光情報誌、会員向け広報誌等への取材協力を行った。

JR東日本の新幹線車内誌「トランヴェール」、月刊文藝春秋10月号への掲載 るるぶ山形など。

○情報提供

観光情報誌出版社等の観光情報データベースへの情報提供。

○掲載等許可件数

	令和3年度	令和2年度
掲載許可	17件	22件
放送許可	3件	1件
所蔵資料閲覧件数	0件	1件
所蔵資料貸出件数	1件	0件

4 施設の維持管理

- (1) 2月の豪雪により、1階廻廊屋根軒部（南側）の瓦が軒先までせり出し、屋根からの落雪に伴い、軒先瓦がはがれ落ち、破碎した。軒先瓦約10数枚が脱落し破碎。2月28日付けで文化庁に毀損届、4月26日付けで修理届を提出。
- (2) 重要文化財旧済生館本館の保全及び事故等の防止を目的として、開館中における巡回点検を行った。
- (3) 火災報知器等の防火設備の整備・点検（8月・2月）を実施。
- (4) 消防署との連携のうえ、消防訓練（6月・11月・1月）を実施。
- (5) 館内外の清掃の徹底並びに庭の美観の維持や樹木等の剪定（9月）と雪囲い（11月）を実施。
- (6) 建物施設のこん虫等防除保全（8月）を実施。

5 その他

- (1) 三層楼ライトアップの継続（18時～22時まで。ただし冬季は日没時より。）
- (2) 来館者へのサービス向上
敷地内植物から採取した花の種の配布、及び手作りの葉の配布を行った。
- (3) 常設展示の更新に向け、郷土館運営協議会の竹原万雄委員に、展示更新に当たってのアドバイスを受けた。医学史の専門知識を持つ立場から助言を受けながら、常設展示の魅力向上を行っていく。

令和4年度 山形市郷土館事業計画

1 運営方針

- (1) 明治初期の擬洋風建築の傑作といわれる国指定重要文化財「旧済生館本館」の建物の保存と活用を図る。
- (2) 郷土の医学や歴史に関する資料を収集・展示する資料館としての維持管理・運営を行う。
- (3) 常に来館者を意識した事業及び日常業務を行い、市民、観光客ともに親しみや興味を持ってもらえる、山形市の郷土の魅力を発信できる施設を目指す。

2 主な事業

(1) 展示活動

医学資料及び歴史資料について常設展示を行い、山形市における医療の歴史及び郷土史を紹介する。併せて、魅力ある企画展を実施し入館者の増加を図る。

- ① 展示品の入れ替えを実施し、解説等を整備することで、収蔵資料の活用を図る。
- ② 山形市における医療及び郷土の歴史(昭和期を中心にして)について展示を行なうことで、山形市の郷土の歴史・文化を紹介する。
- ③ 山形市郷土館紹介DVDをYouTube動画に変換し、市公式YouTubeチャンネル公開する。「旧済生館本館」の文化財的価値や特長を伝える。
また、山形市学習センターポータルサイト内にも紹介動画をアップし、教師用パソコンを使用して授業などへの活用が可能となっている。

④ 企画展の開催

○山形市郷土館・郷土資料収蔵所 新収蔵品展

(令和4年6月25日～7月24日)

令和3年度に山形市郷土館及び郷土資料収蔵所で新たに寄贈を受けた資料を展示することで、新規資料の活用及び周知を図る。

なお、令和3年度に郷土館及び郷土資料収蔵所へご寄贈いただいた資料は次のとおり。

- ・ 蓑 2点 (収蔵所)
- ・ ハエ取り器 1点 (収蔵所)
- ・ 鎌 1式 (収蔵所)
- ・ 鈴木家文書 1, 346点 (収蔵所)
- ・ 水野右エ門太夫忠政家系図ほか106点 (収蔵所) 合計1, 456点

○秋季企画展「(仮称) 城下町から中心市街地へ～江戸時代から昭和の山形～」
(令和4年9月～11月頃)

令和4年9月に登録有形文化財である第一小学校旧校舎がリニューアルオープンするのを機に、中心市街地に残る建造物をはじめとする歴史的な文化財を展示し、江戸時代から昭和にかけての遷り変わりを紹介する。

○山形市文化財成果パネル展（令和4年12月～令和5年1月頃）

令和3年度に山形市内で行なわれた遺跡調査成果、新指定文化財及び文化財の活用等について、写真及びパネルによる紹介を行ない、山形市内の文化財について普及・啓発を図る。

⑤デジタルアーカイブの作成

山形大学附属博物館が中核館となって組織する「山形アーカイブ実行委員会」に参加し、事業の一環として、本館建造物及び収蔵資料の一部のデジタルアーカイブを作成する。

(2) 普及活動

郷土館の魅力を発信するため、次のような活動を行う。

- ① 仮称「夜の郷土館（ナイトミュージアム）」の開催。郷土館の知られざる魅力である夜の雰囲気由来館者に味わってもらうため、閉館時間を8時頃まで延長する。（10月の開催予定）
- ② 有識者の解説付きの旧済生館本館見学会（通常非公開の3・4階を含む）の実施。
令和4年度第1回を6月25日に開催。講師：小形利彦氏（元郷土館運営協議会委員）。参加者9人。
- ③ 3・4階特別公開（2回実施予定）。
- ④ 来館者への積極的な説明を行う。（ただし新型コロナウイルス感染症の状況による）
- ⑤ 「郷土館だより」の発行
- ⑥ 市ホームページ、市フェイスブック及び『広報やまがた』で事業の周知活動。
- ⑦ 一般刊行物への写真掲載及びテレビ取材・撮影への協力。

例）東北芸術工科大学と山形テレビが共同で制作したテレビ番組「なるほどヒストリー山形お宝大発見」で山形市郷土館（旧済生館本館）が取り上げられた。放送日は令和4年7月20日19時から放送予定。

3 アンケートの実施

入館者の傾向や郷土館への希望などを把握するため、通年の任意アンケートに加え、期間を定めた全来館者アンケートを実施する。ただし、新型コロナウイルス感染症の状況により、任意のアンケートは中止する。

4 施設の維持管理

山形市郷土館は、国指定重要文化財「旧済生館本館」を活用した施設のため、建物の適切な維持管理及び周辺環境の維持管理を行い、文化財の保護に努める。また、防災設備の維持管理により、災害の防止に努める。

- (1) 重要文化財旧済生館本館の保全及び事故等の防止を図るため、開館中における巡回点検を強化する。
- (2) 火災報知器等の防火設備の整備・点検（8月・12月）を実施。
- (3) 消防署との連携のうえ、消防訓練（5月・10月・1月）を実施
- (4) 館内外の清掃の徹底並びに庭の美観の維持や樹木等の剪定（夏季）と雪囲い（冬季）を実施。
- (5) 建物施設のこん虫等防除保全（7月）を実施。
- (6) 大雪により落下・破損した廻廊屋根瓦の補修。

5 その他

- (1) 三層楼ライトアップ（18時～22時まで。ただし冬季は日没時より。）
- (2) 開館時間の延長（花笠まつりの期間に依頼があり、対応を予定）
- (3) 他博物館・美術館との情報交換
- (4) 新型コロナウイルス感染症の状況を注視し、対策を講じながら、事業の推進を図る。

月別入館者数

	3年度	2年度	前年比	元年度	30年度	29年度
4月	1,986	7	283.71	7,774	5,630	5,137
5月	1,591	152	10.47	4,938	2,795	3,433
6月	1,358	692	1.96	3,526	2,180	2,265
7月	1,624	1,237	1.31	3,092	1,803	1,957
8月	1,641	1,352	1.21	4,192	3,043	3,032
9月	1,674	2,082	0.80	3,486	2,775	2,833
10月	2,478	2,800	0.89	3,929	3,192	2,394
11月	3,365	3,679	0.91	3,626	3,632	2,860
12月	1,279	1,139	1.12	1,525	1,909	763
1月	784	370	2.12	1,602	1,034	985
2月	1,116	846	1.32	1,918	1,902	1,117
3月	1,658	1,526	1.09	2,068	2,391	2,204
計	20,554	15,882	1.29	41,676	32,286	28,980

※令和2年度は4月1日～5月17日まで臨時休館

山形市郷土館・郷土資料収蔵所

新収蔵品展

令和4年

6.25(土) ~ 7.24(日)

開館時間 9:00~16:30

会場 山形市郷土館1階ロビー
山形市霞城町1-1(霞城公園内)

令和3年度に新たに収蔵した郷土資料をご紹介します。



【主催】山形市企画調整部
文化振興課 文化財係

TEL:023-641-1212

(内線:626・627)

FAX:023-624-9618

E-mail:

bunka@city.yamagata-yamagata.lg.jp